

廃棄食品を無料で提供



フードバンク設立に向けて話し合う福崎さん（右端）たち

「フードバンク福山」設立へ

年内めど 勉強会で理解広げる

福山市と府中市のまちづくり、福祉分野の市民団体メンバーたち9人が、衛生上は問題がないのに廃棄される食品を集めて希望者に無料で提供する「フードバンク福山」の設立準備を進めている。年内をめどに活動を始める方針で、近く、市民や企業に理解を広げるための勉強会を開く。

（久保友美恵）

計画では、県東部の食品会社や小売店などから、①規格外の②包装に傷がある③仕入れすぎた④などの理由で廃棄される賞味・消費期限内の食品を譲り受け、路上生活者の支援団体や福祉施設などに無償で渡す。事務局や

食品の保管場所は調整中で、決まりしだい事業を始める。

府中市のまちづくりNPO法人わいわいがやがやの福崎裕夫理事長(55)が発案した。東日本大震災の直後、東北地方に発送できなくなった商品を福山市の

水産加工会社から譲り受け、市内の福祉施設に届けたところ「食費を他の経費に回せる」と感謝されたのがきっかけという。同市社会福祉協議会などから8人の紹介を受け、準備会をつくった。

勉強会は20日午後1時半から福山市本町の市民参画センターで開く。広島市でフードバンクを運営するNPO法人あいあいねつこの原田佳子理事長が活動を報告する。参加費500円。定員70人。準備会☎090(5708)3072。